

ブライダル大手「ノバレーゼ」宮崎初進出
完全貸し切り型の婚礼施設を 2023 年春 オープン
青島を望むチャペルや「鬼の洗濯板」をイメージした外観、宮崎らしさ表現
県内約 10 年ぶりの新規式場、結婚式 コロナ禍から復調傾向

ブライダル大手の(株)ノバレーゼ(東京都中央区、荻野洋基社長、資本金:100 百万円)は、宮崎県に初進出し、貸し切り型の婚礼施設「アマンダブルー青島」(宮崎市青島 3)を、2023 年春に開業します。式場は、太平洋に面した青島エリアに構えます。地平線まで続く海と神聖な青島が目の前に広がる見晴らしの良い施設です。その贅沢な空間を、昼夜各 1 組限定で貸し切りにできるのが特徴で、プライベート感の高さを売りに、他社との差別化を図ります。

完全貸し切り型のゲストハウス「アマンダブルー青島」は、2022 年 9 月に着工し、2023 年春のオープンを目指します。

場所は、JR 日南線「青島駅」から徒歩 4 分の好立地で、新規リゾート施設の開業で注目のエリアです。太平洋に面した施設で、館内の至る所から雄大な海と、神聖な島として名高い「青島」を望めます。

敷地面積は、約 4885 平米で、鉄骨造りの 2 階建て(延べ床面積約 1376 平米)を新築します。施設は 4 つの空間(棟)に分け、披露宴会場とチャペル・ドレスショップ、ラウンジ、新郎新婦らの控え室で構成します。最大収容人数(着席)は、披露宴会場が 154 人で、チャペルが 100 人です。

建物は、全体を青島に正体するように建て、眺望を良くしています。外観は、波状岩が広がる青島独特の海岸風景「鬼の洗濯板」をイメージしてデザイン。それぞれの棟を前後にずらして配置する斬新な造りで、波状岩を表現します。館内は、青島神社の「産霊紙縷(むすびこより)」をモチーフにしたデザインを、壁面のアートなどに取り入れ、宮崎らしさを演出します。

施設は庭園を併設しているのも特徴で、美しい芝生が広がるなか、ガーデン挙式を楽しめます。人気のスイーツビュッフェやグリルを提供するガーデンパーティーの会場としても使用できます。

2022 年 8 月 27 日(土)には営業拠点となる開業準備室を、宮崎市橘通東 4 丁目にオープンし、受注を開始します。

宮崎県に婚礼施設が新規開業するのは約 10 年ぶり(リクルート調べ)で、当社は今回の出店を機に、県内のブライダル市場をますます盛り上げていきたい考えです。



建物は、青島周辺に連なる波状の岩「鬼の洗濯板」をイメージし、それぞれをずらして配置。2 階のグレー部分の外壁には縦方向にラインを入れて陰影をつけることで、岩の凹凸を表現。

青島を望む神聖なチャペル、新郎新婦越しには雄大な海の絶景広がる

海側を全面ガラス張りにするチャペルからは、良縁のパワースポットとして名高い「青島」を大きく見られます。天井高は最大 4メートル設け、採光性の高い、開放的な空間に仕上げます。海の波頭に反射する光の輝きと、館内にあふれる光、青い海と空のコントラストなど自然の恵みを婚礼演出に生かします。

祭壇の先にはインフィニティプールを設け、まるでチャペルと海が一体となっているような幻想的な空間に仕上げます。



神聖な島として名高い「青島」に見守られながら
新郎新婦は永遠の愛を誓う

「宮崎の海」を表現したバンケットや、「むすびこより」を取り入れたデザイン

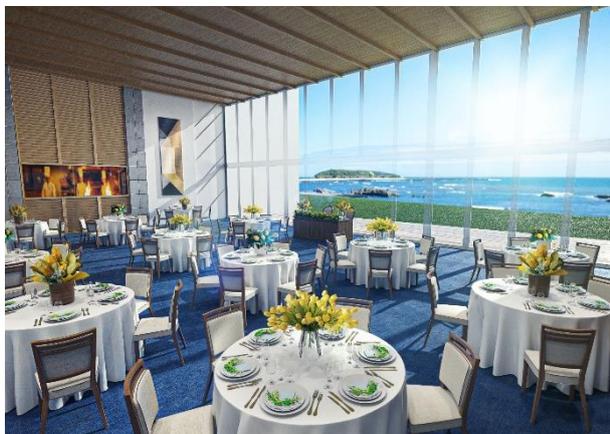
バンケット(披露宴会場)は「宮崎の海」がテーマです。海側は一面ガラス張りで、高さ 6メートル横幅が約 16メートルの大きな窓越しに、迫力のある絶景が広がります。青島のほか、地平線まで広がる海の雄大な景色お楽しみいただけます。床にはブルーのカーペットを敷いて、海との一体感を演出します。

会場内には、窓ガラス越しにシェフらが調理をする様子をご覧いただける“オープンキッチン”を併設しており、お食事とともにフランベショーといった演出をお楽しみいただけます。

ラウンジも一面ガラス張りで、海のブルーと庭のグリーンの美しいコントラストで、列席者を出迎えます。

バンケットとラウンジはどちらも 2階建ての吹き抜け構造で、それぞれ屋外テラスがあり、海外のリゾートホテルのような開放的な空間です。壁面アートとカーペット、ソファーに、青島神社の「産霊紙縊(むすびこより)」*をモチーフにしたデザインを取り入れ、宮崎らしさを演出します。

※願い事によって色の違う紙縊(こより)を結び付ける。結ぶと願いが叶うとされる



左) 景色を楽しみながら本格的な料理を堪能できるバンケット。迫力ある調理シーンを楽しめるオープンキッチンも併設
右) まるで海外リゾートのような高級感のある空間のラウンジ。洗練された空間で優雅なひとときを…

料理は地元食材を使用、“地産地消”のコースを提供

列席者に提供する料理は地産地消にこだわり、日向灘の海産物や宮崎牛など、宮崎県産の食材をふんだんに使用します。料理はコース形式で提供し、メニューは和洋折衷を 5 種類、とフレンチを 2 種類用意します。

バンケット内に併設しているオープンキッチンから披露宴の進行の様子を確認し、調理を行い、できたての料理を提供します。

チャペル棟 1 階にはドレスショップも開業、衣裳はオリジナル 8 割

チャペル棟の 1 階には、ウエディングドレスをレンタル、販売する衣裳店「エクリュスポーゼ宮崎店」を開業します。店内にはウエディングドレスやカラードレス、新郎新婦の和装、タキシードを合わせて約 200 着を揃えます。店舗で扱う約 8 割の衣裳が当社のオリジナル商品です。ドレスショップでは衣裳のほか、イヤリングやネックレス、ヘッドアクセサリーなど、新婦をさらに華やかに魅せる小物類も多く扱います。

ドレスコーディネーターが、試着の段階から、衣裳に合うヘアスタイルやアクセサリー類をセレクトするので、新郎新婦は本番に近い姿を想像しながら、衣裳等を選べます。初進出となる宮崎県でも、ドレスコーディネートから当日の披露宴までをトータルサポートする体制を整えます。

ドレスのレンタル価格は税込 19.8 万円からです。

<ご参考資料>

宮崎県はブライダルの有望市場、

挙式や披露宴にかかる総額は全国平均より高く、婚姻組数(予測値)も増加傾向に

リクルートが 2021 年 11 月に発表した「ゼクシィ結婚トレンド調査 2021(九州版)」によると、宮崎県の披露宴にかかる総額は 300.0 万円で、全国平均(292.3 万円)より 7.7 万円高くなっています。当社は宮崎県を有望市場と捉えており、今回、アクセスや景観の良さなど、ブライダル施設として好条件の場所が見つかり、開業に至っています。

同社の「婚姻組数予測」(2022.3)によると、県内在住カップルの婚姻数は 2024 年には 4,616 組で 2022 年から 329 組増えると予測しています。

また結婚式業界は、コロナ禍の低迷を脱し、復調傾向にあります。矢野経済研究所の「2021 年ブライダル関連市場規模」の調査によると、2022 年の市場規模は前年比約 110%の 1 兆 6400 億円と予測しています。



景観の良さを最大限に生かしたガーデン挙式を実施。庭園からはビーチに出て写真撮影も！

施設概要

施設名	アマンダンブルー青島	開業日	2023年春
住所	宮崎県宮崎市青島3丁目114-3(地番)		
交通	JR 宮崎駅から車で25分、JR 日南線青島駅よから徒歩4分		
営業時間	平日/11:00~19:00 土日祝日/10:00~20:00、定休日/祝日を除く火、水曜日		
面積	敷地面積: 4885.05 m ² (1477.72 坪)	延床面積: 1376.95 m ² (416.53 坪)	
	バンケット: 216.87 m ² (65.6 坪)	チャペル: 115.88 m ² (35.05 坪)	
収容人数	バンケット: 着席 154 人 チャペル: 着席 100 人		
駐車場	46 台	構造	鉄骨造
デザイン	窪田建築都市研究所有限公司	電話	0120-953-840
Mail	p-miyazaki@novarese.co.jp		
HP	https://produce.novarese.jp/amandan-blue-aoshima/		

会社概要

社名	株式会社ノバレーゼ[英文社名]NOVARESE, Inc.		
住所	〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目8番14号 銀座 YOMIKO ビル 4F		
電話	03-5524-1122(代)	創立	2000年11月1日
資本金	100 百万円 (2020 年 12 月末)	代表者	代表取締役社長 荻野洋基
従業員数	2034 人(連結)、1670(単体) ※いずれもパート・アルバイト含む(2021 年 12 月末)		
事業内容	ブライダル事業(婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門)		
	国内店舗数		海外
婚礼施設運営	ドレスショップ	レストラン	フォトウエディングとスパ運営事業
34 施設※	23 店舗	7 店舗	1 店舗

※今回の宮崎県の施設に加え、今後開業を控える和歌山県と沖縄県の施設を含みます

本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当:松井

TEL.03-5524-2299

E-mail: t-matsui@novarese.co.jp